

伊丹市内で特定外来生物アルゼンチンアリの生息を確認

<内容>

2021年12月に伊丹市昆虫館（昆陽池3丁目地内）および同チョウ用食草圃場（桑津3丁目地内）において、特定外来生物であるアルゼンチンア리를館職員が発見しました。その後、食草圃場周辺を調査したところ、これまでに大阪国際空港敷地の一部を含め、伊丹スカイパークや西桑津公園など周辺部に生息していることが確認されました。

現在、市では伊丹市昆虫館と連携し、国立環境研究所や兵庫県立人と自然の博物館の助言・指導の下、環境省近畿環境事務所、兵庫県、空港管理者等、関係機関との協議を進めるとともに、効果的な対策の検討をしているところです。今後は防除を進めるとともに、環境省の交付金等を活用して、分布状況等の詳細な調査を行い、防除計画を策定する予定です。

また、昆虫館及びチョウ食草圃場内ではフィプロニル成分含有のベイト剤の設置を行うなど対策を実施したところアルゼンチンアリの低密度化には成功しており、現在も根絶に向けた取り組みを継続しています。

アルゼンチンアリは、人体や健康に直接的な影響はありませんが、人家をはじめ店舗・倉庫など建築物に侵入、営巣して大群となるとともに、資材等の運搬に伴い拡散する恐れもありますので、近隣の住民や事業者の皆様にはご留意いただきますようお願いいたします。

アルゼンチンアリ 学名: *Linepithema humile* (Mayr, 1868)

- ・ハチ目アリ科カタアリ亜科に属する南米原産の小型のアリ
- ・体長は働きアリで2.2～2.6mm、女王アリで4.0～6.0mm、雄アリで2.8～3.0mm程度
- ・体色は薄い黒褐色～茶褐色
- ・「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」に基づく「**特定外来生物**」に指定されている
- ・我が国では1990年代の初めに中国地方で発見され、徐々に分布を拡大
- ・近年は物資などに随伴して移動し、遠隔地でも続々と定着が確認されている
兵庫県下では、神戸市や明石市などで既に生息が確認されている
- ・生命人体や健康に対する影響はない
- ・不快・衛生害虫：市民の居住空間や物流倉庫、工場や店舗への**衛生被害**
- ・農業被害
- ・侵入・定着している地域では**在来のアリ類をほぼ駆逐してしまうなどの生態系攪乱**

P R E S S
R E L E A S E

- ・薬が効きやすい生物である（ベイト剤等を設置することで駆除が可能で、東京都品川区や静岡県では根絶に成功）



（アルゼンチンアリ 伊丹市昆虫館提供）

<問合わせ先>

伊丹市役所 都市交通部 みどり公園室 みどり自然課

担当：高津・原田

TEL：072-780-3521

FAX：072-784-8149

E-mail：midorishizen@city.itami.lg.jp